

土木学会田中賞「作品部門」推薦書 記入要項

1. 「田中賞募集要項」ならびに、この記入要項をよく読んでから、推薦書の記入を行って下さい。
2. 推薦書は1／8～8／8の8頁から成っています。各々の頁で必要事項を記載して下さい。様式・頁数は変更しないで下さい。
3. 推薦書は、PDF ファイルとし、HP の記載に従って提出して下さい。
4. 第1項の「対象作品の名称」には、新設（既設の更新、改良等で新たに架設された構造物も含む。以下も同じ）の場合には作品の名称を、既設の更新、改良等の場合にはその特徴が分かる作品の名称を記載して下さい。また、「完成年月」は対象となる作品の完成年月（既設の更新、改良等の場合にはその完成年月）であり、工期の途中であっても差しつかえありません。なお、原則的には橋梁等の供用開始の時点をも、完成年月とします。ただし、その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物では、構造物本体が完成したとみなされる時点を完成年月とします（舗装、軌道等は未施工でも構いません）。既設の更新、改良等の場合には、既設橋梁の完成年月も記入して下さい。
5. 第3項の「作品に関係した団体」は、募集要項でいう受賞主体であり、賞に推薦することを受賞主体が了解の上応募して下さい。
6. 第4項の「連絡担当者」には、土木学会田中賞選考委員会との連絡を直接担当される方を記入して下さい。
7. 推薦する作品が橋梁そのものでなく、これに類するもの場合には、第5項から第10項までの項目名を、必要に応じて変更のうえ、記入しても構いません。
8. 鋼橋の場合、第6項の「構造形式・上部構造」には、床版構造についても記入して下さい。
9. 第9項の「主工事数量」、および第10項の「主な施工方法」には、作品の特徴を表現できる数量および施工方法を記入して下さい。新設の場合には、上部構造と下部構造に分けて記入して下さい。
10. 第9項の「主工事数量」には、新設の場合、上部構造については、主材料数量として、鋼材質量（t）あるいはコンクリート量（m³）を記入し、さらに（ ）内に、道路橋や歩道橋の場合には単位橋面積当りの数量（kg/m²あるいは m³/m²）を、鉄道橋の場合には単線 m 当りの数量（kg/線/m あるいは m³/線/m）を記入して下さい。なお、橋面積の算出には、有効幅員を用いて下さい。また、既設の更新、改良等の場合には、撤去数量や打ち替え数量などがわかるように記入して下さい。
11. 第11項の「作品の特徴の要約」には、第12項の「作品の特徴」の要約を600字以内で箇条書きにして記入して下さい。
12. 第12項の「工事概要・作品の特徴（計画、設計、製作、施工など）・参考文献」は、3／8までを使用し、それぞれについて見やすく記入して下さい。参考文献が多い場合は代表的なものにとどめ、所定欄を超えないようにして下さい。なお、参考文献は提出期限の時点で既発表のものに限ります。
13. 推薦書4／8～8／8には、作品の特徴がわかる図を貼り付け、簡単な説明を加えて下さい。また、鮮明な画像データも直接貼り付けて下さい。原則として、作品の全体が分かるような写真を最低1枚、部分や特徴を示す写真を数枚貼り付け、それぞれに簡単な説明を付けて下さい。
14. 推薦書以外の参考資料は一切添付しないで下さい。
15. 締切日時 2027年1月20日（水）17：00
16. 提出先 田中賞推薦書提出 HP URL：http://committees.jsce.or.jp/tanaka_sho/oubo/
17. 連絡先・問合せ 土木学会 田中賞選考委員会 担当事務局宛 E-mail：office@jsce.or.jp

※「橋 Bridges in Japan」への資料提供について（ご協力をお願い）

土木学会では、主に国内で竣工した橋梁を対象に「橋 Bridges in Japan」（橋梁年報）を毎年11月頃発刊しております。田中賞の発表後に「作品部門」「技術部門」に応募されたものについて、連絡担当者の方に、構造工学委員会橋梁年報編集小委員会より、掲載の可否および掲載の場合の資料の提供などについてご連絡させていただきます。ご協力をお願いいたします。

なお担当者連絡先については、本推薦書に記載の内容を田中賞選考委員会より提供いただくことをご了承ください。

本記入例はあくまでも一例です。推薦書を作成する上での参考として下さい。

土木学会田中賞選考委員会 御中

推 薦 者

氏 名 土木 太郎 (会員番号: 123456789)

所属先 ○○高速道路(株)

住 所 ○○県○○市○○

会社名等を記載して下さい。

令和8年度土木学会田中賞作品部門の選考対象として「○○橋の耐震補強」を別添推薦書のとおり推薦します。なお、賞に応募することに対して受賞主体の了解を得ています。

作品の名称を記載する。
工事名ではありません。
推薦書(1/8)第1項の
「対象作品の名称」と同
じとする。

以 上

様式は変更しないで下さい。また、対象外の欄には「－」を記入して下さい。

1/8

令和8年度土木学会田中賞作品部門推薦書

西暦2027年 1 月 〇 日 提出

受付 西暦 年 月 日

1	(ふりがな) 対象作品の名称	まるまるはしのたいしんほきょう 〇〇橋の耐震補強		完成年月	西暦 2025 年 4 月
2	対象作品の所在地	〇〇県〇〇～△△県△△		既設橋梁完成年月 (既設の作品のみ)	西暦 19〇年〇月
3	作品に関係した団体	① 事業者 〇〇高速道路(株) ② 設計者 〇〇コンサルタント 〇〇建設(株) ③ 施工者 〇〇建設(株)			
4	連絡担当者	(ふりがな) はし こういちろう 氏 名 橋 好一郎		所属先 〇〇建設(株)	
5	橋 種	道路橋・鉄道橋・歩道橋・その他()		設計 活 荷 重	B 活荷重
6	構造形式	上部構造 (改築前) 〇〇〇 (改築後) ゲルバー桁橋 (RC 床版) 下部構造 (改築前) 〇〇〇 (改築後) RC 壁式橋脚 (直接基礎)		改築前後で変わる場合には、両方の情報を記載する。	
7	橋長・支間割	橋長 100.0m	支間割 30.0m+40.0m+30.0m		
8	幅員構成	有効幅員 6.5m	内訳 0.5m (路肩) +2@2.75m (車線) +0.5m (路肩)		
9	主工事数量	補強鋼材質量: 〇〇t 橋脚補強面積: 〇〇m ²			
10	主な施工方法	当て板補強 炭素繊維シート補強			

参考文献は、基準類ではなく、当該橋梁の特徴を理解できる論文等を記載する。

(必要に応じて図表を加えてよい)

A 4x40 grid of small blue circles. The first, third, and fourth rows each contain 40 circles. The second row contains 38 circles, with two empty spaces at the end of the row.

作品の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇（図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること） 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（レイアウトは自由にしてよい） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

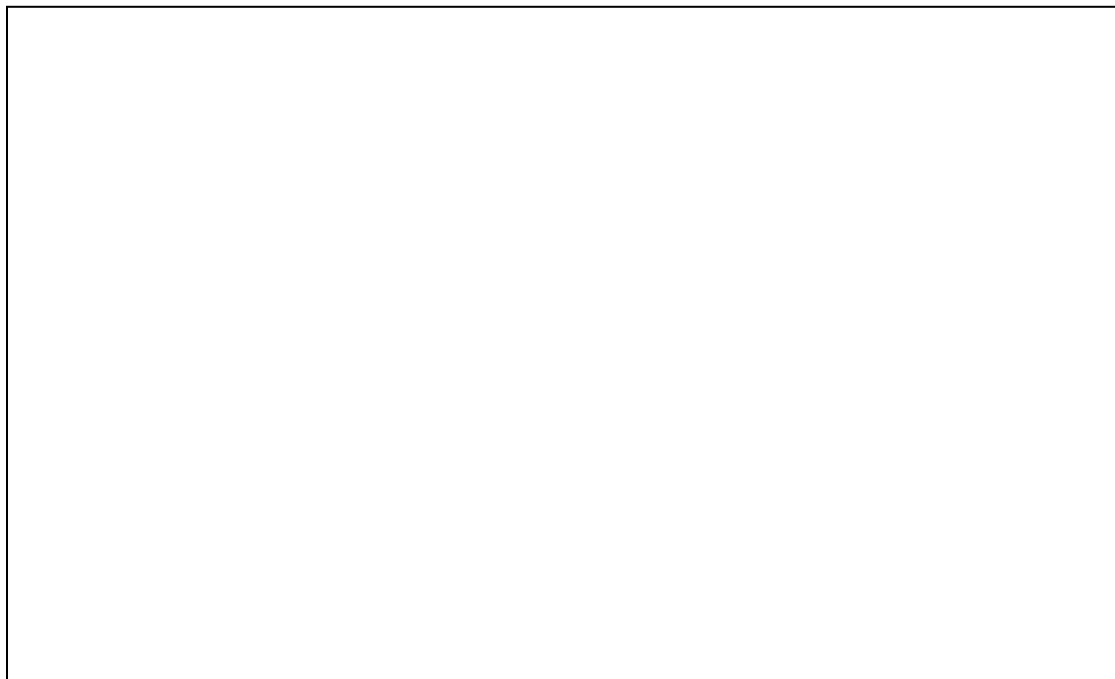


図-1〇〇

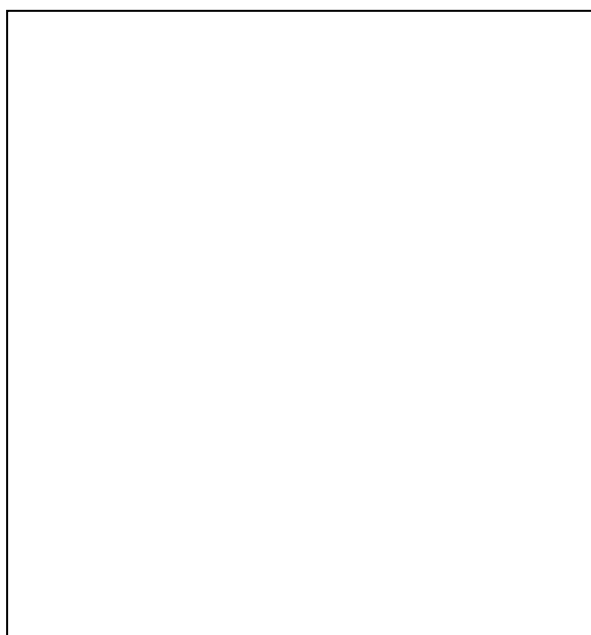


図-2〇〇



図-3〇〇

作品の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇 (図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

作品の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇 (図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

作品の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇 (図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

令和 8 年度土木学会田中賞作品部門推薦書		作品の名称 〇〇橋の耐震補強	
-----------------------	--	-------------------	--

作品の特徴がわかる図や写真

〇〇〇〇〇〇 (図や写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

事業者・設計者・施工者 主担当者リスト

事業者，設計者，施工者（JV の場合はそれぞれ）の主担当者の情報を以下にご記入の上，候補推薦書とともにご提出下さい．なお，新設において，設計者および施工者が上部構造と下部構造で異なる場合には，上部構造と下部構造に分けてご記入下さい．

事業者	所属先（会社名等）： 役職： 主担当者氏名：
設計者	所属先（会社名等）： 役職： 主担当者氏名：
施工者	所属先（会社名等）： 役職： 主担当者氏名：